

4月4日 住まいアセッサー（評価員）研修会 開催！

住まい評価推進協議会が普及を目指している、既存住宅のチェックシート：「住まいひょうか君®」を活用することができるレベルの高い事業者の育成を目的に、住まいアセッサー（評価員）研修会を開催しました。

研修会は朝から夕方までの長時間にも関わらず、建築士などの建築事業者 42 名が参加。



満席の会場で、講義を熱心に受けられる受講者



既存住宅市場のトラブル・法務について講義される 近畿地方整備局 森川 浩徳氏

研修会では、8名の講師により、評価入力に関する各専門分野の知識について講義が行われました。

「見える化評価」に関する意義・心得、木材および木造住宅の劣化、既存住宅市場のトラブル・法務について、リフォームの積算方法、防犯知識、融資制度に伴う検査項目、評価入力の基礎知識、住宅履歴整備、コミュニケーション力について等、住まいアセッサーに求める必要な講義は多岐に渡っています。

「住まいひょうか君」はお客様とのコミュニケーションツールのため、お客様とのコミュニケーション力を最重要視しています。

社員研修の専門家である ㈱Smart Presen 代表新名講師によるコミュニケーション力を高めるための講義は、プレゼン力をつける上で、参考になったと受講者に大変好評でした。



コミュニケーション力について講義される新名講師

住まいアセッサー（評価員）今後の動き

4月4日の住まいアセッサー（評価員）研修会の筆記試験合格者を対象に4月～5月の間、築80年を超える会場を使って実際の点検作業実地研修（OJT）を行い、評価員の判定基準等、レベルの統一を図り、最後に評価員として認定いたします。

「住まいひょうか君®」の普及と、お客様に信頼いただける住まいアセッサー（評価員）が拡大することを目指して、当協議会は今後も活動してまいります。



床下を点検する受講者